



株式会社ギックス（東証グロース 9219）

『第三者割当による第5回～第7回新株予約権（行使価額固定型）の発行及び新株予約権買取契約（ターゲット・イシュー・プログラム「TIP」）の締結に関するお知らせ』に関する補足説明資料

資金調達手法

現状株価対比高い水準に行使価額を設定したTIPを採用

- あらかじめ将来の株価上昇を見込んで3通りの行使価額を設定
- 株価が上昇したタイミングであらかじめ設定したターゲット価格（行使価額）で段階的に資金調達
- 行使価額の修正は行われない

TIPとは？

ターゲット・イシュー・プログラム（Target Issue Program）の略

当社が新株式の発行に際して希望する目標株価（ターゲット価格）を定め、これを行使価額として設定した新株予約権。将来の株価上昇を見越し、異なる行使価額によって、段階的に新株式を発行（ターゲット・イシュー）できることを期待して設定
本ファイナンスにおいては、株価が上昇しなければ、行使は進まず希薄化が発生しない設計

資金調達手法 選択理由

M&Aの推進によるインオーガニックな成長に資金を振り向け

- M&Aについては、エクイティ性資金と融資による資金を組み合わせ実現することを企図
- エクイティ性資金の調達手段として、当社の将来的な企業価値向上と既存株主をはじめとするステークホルダーの利益に資するものと判断し、TIPを選択

具体的な使途

既存事業・周辺事業における機能補完を目的としたM&A

当社は2028年6月期の財務目標として「売上高80億円、コア営業利益9.3億円+α」を掲げており、その目標を達成するために必要なM&Aによる投資の規模は、2028年6月期までの3ヵ年で20～25億円程度と見積り、その一部を当ファイナンスで補填することで、一定の手元資金の確保や財務基盤の維持をしながら機動的な投資判断が実行可能と判断

当社がM&Aの対象として想定する想定ターゲット企業

a. 当社のバリューチェーンの**拡張**や組織**ケイパビリティの強化**が期待できる企業・事業

Business Innovation領域におけるコンサルタントやデータサイエンティスト、およびSystem Innovation領域におけるシステムエンジニアやソフトウェアエンジニア等の人材確保を通じて、当社のバリューチェーンの拡張や組織ケイパビリティの強化に資する企業または事業

b. 当社のビジネスと組み合わせることで**シナジー効果の発揮**が期待できる企業・事業

Mygruをはじめとする当社のプロダクトの機能強化及び機能補完が可能なデジタル領域のサービス・プロダクト、または、当社が保有するデジタル領域のアセット・知見と組み合わせることで顧客開拓及び販売強化が可能なサービス・プロダクトを提供する企業または事業

ターゲット価格は当社上場来高値（3,330円）に向けて段階的に設定

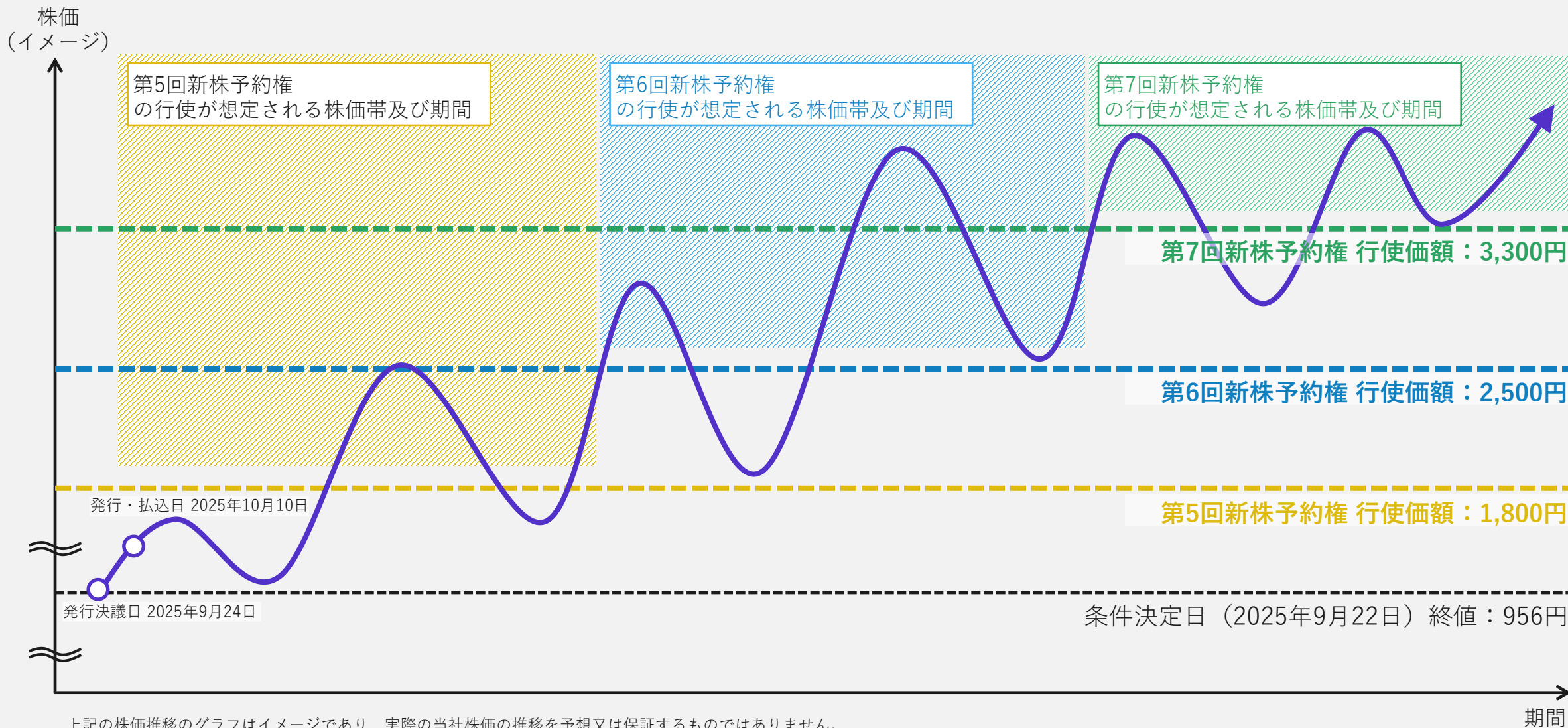
	第5回新株予約権	第6回新株予約権	第7回新株予約権
割当先	マッコーリー・バンク・リミテッド		
調達予定金額合計 ^(a)	10.9億円		
各調達予定金額 ^(a)	1.8億円	2.5億円	6.6億円
目的である株式数	100,000株	100,000株	200,000株
当初行使価額(ターゲット価格) ^(b)	1,800円 (2025年9月22日終値対比+88.3%)	2,500円 (2025年9月22日終値対比+161.5%)	3,300円 (2025年9月22日終値対比+245.2%)
対発行済株式数(%) ^(c)	1.8%	1.8%	3.6%
行使期間	2025年10月14日～2028年10月13日		
行使価額修正条項	無し 行使価額の修正は行われません		
新株予約権の買入消却	15営業日以上 の 事前通知により、残存新株予約権を発行価額で消却可能		

a. 新株予約権が当初行使価額に基づき全ての新株予約権が行使されたと仮定して算出した、新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の総額を合算した金額です。

b. 2025年9月22日当社株価終値956円を基準に算出しております。

c. 2025年6月30日時点の発行済株式数5,584,831株を基準に算出しております。

新株予約権行使のイメージ



上記の株価推移のグラフはイメージであり、実際の当社株価の推移を予想又は保証するものではありません。

新株予約権の行使請求は、割当予定先が市場動向等を踏まえたうえで行うものであり、必ずしも上記イメージどおりに行使が行われるものではありません。

本資料は、情報提供のみを目的として当社が作成したものであり、当社の有価証券の買付けまたは売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。

本資料に含まれる将来予想に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予想に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報及び成長余力等が含まれます。そのため、これらの将来予想に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。

また本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な社会構造の変化に関する情報等の当社以外に関する情報が含まれています。当社は、これらの情報の正確性、合理性及び適切性等について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてこれを保証するものではありません。

なお、今後、将来発生する事象などにより内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。



あらゆる判断を、
Data-Informedに。